

1201

326

第六艦隊戰時日誌

第六艦隊司令部



第六艦隊機密第二三號ノ七六
自昭和十七年九月一日
至昭和十七年九月三十日



目次

一 經過

- (一) 一般情勢並敵軍、情勢
- (二) 任務編制配備
- (三) 作戰指導

二 人員

- (一) 司令部職員
- (二) 麾下總人員
- (三) 令達報告等

四 參考

- (一) 麾下艦船、行動

(二) 戰訓

五 作戰經過、概要

終

自昭和七年九月一日
至昭和七年九月三十日

第六艦隊戦時日誌

一 経過

(一) 一般情勢及敵軍ノ情勢

(イ) 敵ハ「ガダルカナル」方面ニ地歩ヲ固メ我ガ奪回ニ對シ頑強ニ抵抗シツツアリ

(ロ) 「ガダルカナル」敵飛行場ニハ友軍屢次ノ空襲ニモ拘ラズ敵機ノ増強行ハレ亦「エーヘブライス」及「モレスビー」方面ヲ基地トスル大型機モ活動シツツアリ

(ハ) 我ガ聯合艦隊ハ速ニ同島陸軍増強ニ協力之ガ奪回ヲ企圖スルト共ニ好期ニ乘ジ敵艦隊ノ捕捉撃滅ヲ期シ
作戦中

(ニ) 先遣部隊ハ「ガダルカナル」及「ポートモレスビー」攻略作戦海

先		區	任務及配備
ISSB	旗艦	分	
艦 六 案	直率	指揮官	
ISS司令官	香取	兵力	
ISS		任務	及配備
35g/25 前月末、アメリカ西岸海上交通破壊ニ從事 (122) 八日 ISSB = 編入セラレ、ソロモン方面作戰ニ 方面作戰ニ從事 32 前月末、パンニ於テ整備中ノ處、トラツクニ回 航三十日返整備三十日、トラツク出撃、ソロモン 31 前月末、トラツクニ於テ損傷箇所修理中 中ノ處二十五日、トラツクニ飯着整備 155g (133) 前月末、ソロモン方面作戰ニ從事 ISSB (25g) (125)		八月二十四日以来、トラツクニ於テ全 作戰指導並ニ支援	備

(一) 軍隊區分任務及配備

(二) 任務編制配備

面ニ潜水艦ヲ集中敵ノ增強ヲ阻止スルト共ニ敵艦
 隊ノ奇襲ニ仕ズ

隊	部	遣		
	3SSsB			
官	長	令	司	隊
		3SS 司令官		
		3SS		
<p> 從事 平安丸トトラックニ於テ母艦任務ニ從事 33 二十六日〇九ニミトトラックニ於テ沈没 11 11sg (11) 前月末ソロモン方面作戰ニ從事中、 處川被爆雷損傷ノ爲ニ十一日トトラックニ飯投 ノ上十五日吳ニ田航ニ十二日吳着吳ニ於テ修理 ニ從事 114 十日被爆雷損傷ノ爲ニ十一日トトラックニ歸着修理ニ 115 二十一日 112 三十日夫々トトラックニ歸着整備 116 吳ニ於テ整備訓練ニ從事中ノ處十日吳發 十六日トトラックニ進出十八日トトラック發ソロモン 方面作戰ニ從事 118 (佐世保) 111 (吳) 夫々大修理中 119 二日吳ヨリ佐世保ニ田航佐世保ニ於テ大修理中 18 十五日 3SSニ編入セラレ十五日吳發ニ十二日トラ ックニ進出 3SS 旗艦トナリニ十四日トトラック出撃 ソロモン方面作戰ニ從事 靖國丸前月末トトラックニ於テ母艦任務ニ從事 110 15g 前月末横須賀ニ於テ修理整備ニ從事以 期作戰準備中 </p>				

	遣	先
	2SSB	8SSB
隊	艦	六
	7sg 司令	8SS 司令官
	18. 7sg	8SS
前月末即指揮官ノ指揮下ニアリソロン方面 作戦ニ従事	<p>前月末横須賀ニ於テ修理整備中ノ處 八日トラックニ向ケ横須賀發十五日ト ラックニ出撃ソロン方面作戦ニ従事 十七日トラックニ出撃ソロン方面作 戦ニ従事 11日二十三日日外南洋部隊ニ編入セ ラル 16前月二十三日以來横須賀ニ於テ大 修理ニ従事 18吳ニ於テ修理整備中ノ處十五日 3SSBニ編入セラル</p>	<p>3sg (12) 前月末ソロン方面作戦ニ従 事中ノ處八日 1SSBニ編入セラル 12前月末横須賀ニ於テ整備中ノ處 十一日横須賀發ソロン方面ニ進出 14sg (13) 前月末印度洋方面作戦ニ 従事中ノ處 11日「ペナン」ニ歸着 十二日昭南ニ回航十三日昭南着昭南 ニ於テ整備次期作戦準備 日枝丸横須賀ニ於テ母艦任務ニ従事 中ノ處 陸軍沖輸送任務ノ爲ニ二十日 横須賀發二十日香港着爾後右輸送 任務ニ従事</p>

部		隊	
7SSB	附屬	總務隊	
司令官		隊長	
7SS 司令官	報回丸隊長	(各特務隊長 監督官)	
7SS	報回丸 愛回丸 清澄丸	隱戸 新玉丸 日章丸	
<p>121 四日「ラポール」ニ歸投八日「ラポール」發吳ニ回航 吳ニ於テ修理ニ從事 122 七日「ラポール」ニ歸投九日出撃二十五日「ラポール」ニ 歸投整備ニ從事 123 八月二十九日以来通信杜絶消息不明 124 八月二十五日以来通信杜絶消息不明ノ處一日 沈没ト認定 125 前月来「ソロモン」方面作戰ニ從事中ノ處六日「ラポ ール」ニ歸投二十七日「ラポール」發「ポートモレスビー」 作戰ニ從事 迅鯨「ラポール」ニ於テ母艦任務ニ從事中 清澄丸一日EBニ編入 報回丸、愛回丸、清澄丸前月末昭南ニ於テ修 理整備次期作戰準備中ノ處十九日EBヨリ除 カレ主隊ニ編入セラル</p>	<p>隱戸前月末「トラック」ニ於テ補給任務ニ從事 新玉丸吳ニ於テ待機 日章丸補給ノ爲四日吳ニ飯着六日吳發十 五日「ラポール」ニ進出「シヨートランド」ニ於テ補給</p>		

<p>記</p>	
<p>一 EB指揮下部隊 報國丸、愛國丸、 一 伊三。潛一時主力部隊ニ編入中 一 第二號天洋丸 到七月五日 横鎮輸送任務ニ協力中 一 九月一日 清澄丸 EBニ附屬 一 九月十九日 報國丸、愛國丸、清澄丸 EBヨリ除キ主隊ニ編入 事 一 九月十五日 伊八 潛 355Bニ編入 一 九月二十三日 伊一、伊二、伊三 潛 外南洋部隊ニ編入</p>	<p>浦上丸 十九日 補給ノ爲 佐世保ニ向ケ、シヨートランドニ發 二十五日 佐世保着 佐世保ニ於テ待機 第二號 天洋丸 浦上丸 前月末トラツクニ於テ工作任務ニ從事 第二號 天洋丸 横鎮輸送任務ニ協力</p>

8SS	3SS	1SS	直率	戦隊	(四) 編制
日枝丸	靖國丸	平安丸	香取	軍艦	
1sg	11sg	2sg		隊名	潜
イ イ イ	イ イ イ	イ イ イ イ		艦名	
二 一 一	一 一 一	二 二 一 一		名	水
0 八 六	七 七 四	六 五 九 七 五		隊名	
3sg	12sg	15sg		艦名	水
イ イ イ	イ イ イ イ	イ イ イ		名	
二 二 二	一 一 一 一	三 三 三		隊名	艦
四 二 一	七 七 六 六 八	三 二 一		名	
14sg				隊名	艦
イ イ イ	イ	イ		名	
三 二 二	一	九		隊名	艦
0 九 七	一			名	
イ				名	
一					
0					

屬			附			
第七報道班	第十寫真班	第34軍用郵便所	准官長 下士官 一〇七 110	第六補欠班	給兵新玉丸	給油隠戸
			准官長 下士官 一〇六 16	第一補充班 (平安丸)		7sg イ イ イ イ
			〇	第二補充班		四 三 二 一 イ イ イ
			准官長 下士官 三三 33	第三補充班 (靖國丸)		七 六 五
			准官長 下士官 二五 25	第四補充班 (杏取)		イ 八
			准官長 下士官 三三 36	第五補充班 (日枝丸)		

③ 作戦指導

(イ) 九月一日 〇〇〇〇 現在ノ配備概況

ISSB [2sg (-125) 15sg (-131) (-132)] G 散開線 (地點ケンミ27 | 地點ケワメ00)

3SSB [11 1174 3sg (-122) (-124)] H 散開線 (地點ケレヤ27 | 地點ケリヨ00)

7SSB [11sg (-115) 1172 1173 13sg] ガダルカナル島附近

(ロ) 7SS 潜水艦ハ行動力概ネ限度附近ニ達シタルヲ以テ交代

ノ爲一日一八四五 1175 ヲ 7SS 司令官ノ指揮下ニ入レガダルカナ

ル方面監視攻撃配備ニ就カシム

(ハ) 三日一八〇〇 ガダルカナル方面 7SSB ハ哨区ヲ撤シ急速整備補

給ノ爲「ラボール」ニ歸投セシム

11sg 及 1172 ヲ 3SS 司令官ノ指揮下ニ復シ 3SSB ヲシテ 7SSB ノ同方面任

務ヲ継承セシム

(ニ) 五日一九五。GF 電令作第ニ六三號内容ニ基キ例ニ對シ修

理出末次第「トラック」發「サンタクルーズ」方面ニ急行爲
 シ得ル限リ十二日黎明迄ニ「又デニ」島「クラシオサ」灣ニ
 進入敵飛行艇ヲ奇襲撃滅ノ上指揮官所定ノ散開
 配備ニ就クベク發令（131六日一六三〇「トラック」發）更ニ七
 日〇七五〇發令ニテ131本任務終了後引續キ「バニコロ」
 島ノ飛行偵察ヲ命ズ

（ホ）六日一三〇〇GF電令作第ニ六三號ニ基キ135gノ一艦ヲイン
 ダスペンサブル「礁」ニ配シ九月十一日以降特令スル迄水
 偵隊ノ基地ニ仕セシムベク發令ス

但シ似ハ損傷修理ノ爲内地ニ回航ヲ要シ似モ故障
 個所應急修理ノ要アリ十三日午前現地着ノ見込
 （ハ）六日〇九一〇川ハ地點ケラル48ニ於テ敵空母（「エニタープライズ」
 類似）一大巡ニ驅逐艦數隻發見

○九四九敵空母雷撃命中二本命中三分後爆發音ヲ
 聽ク 川ハ攻撃後敵驅逐艦ノ爆雷攻撃ヲ受ケ潜航
 不能ニ陥ル

(ト)七日一八一四川ニ對シ「ト」ラックニ歸投ヲ命ジ八日〇〇〇〇
 ヨリISS司令官ヲシテISSB及3SSB(現地作戦部隊)ノ指揮ヲ執
 ラシム 同時刻以後3sgヲISSBニ編入ス

(イ)八日〇〇〇〇ISS司令官ハISSBノ散開配備ヲ左ノ通改ム

I 散開線 (地點ケワモ32ノ地點ケリヨ〇〇)

J 散開線 (地點ケヨリ〇〇ノ地點ケユリ31)

東ヨリ124 121 126 119 115 117 及 133 131ノ順散開距離ニ〇埋

(ウ)九日一三〇敵輸送船ノ「ガ」タルカナル方面出入ニ鑑ミ 3SSB

(1172 1174 1175)ヲシテ「インデ」スパン「サブ」ル水道南口ヲ更ニ緊密ニ扼サ

シメ機宜一部ヲ泊地ニ進入敵艦船ノ攻撃ニ任ゼシム
 (ハ) 十二日〇〇〇〇 131ハ既令ノ通「又デニ」島「グラシオサ」湾ニ進入
 敵飛行艇基地ニ對シ砲撃(一)。(發)距離約五〇〇〇米
 効果不明

(ル) 十二日一八〇〇 131ニ對シ敵大部隊存在ノ疑アルコトハニコロ
 島及附近ノ飛行索敵ヲ命ジ同艦ハ十三日早朝之ヲ
 實施シタルモ附近濠雨ノ爲敵情ヲ得ズ(着水時飛
 行機破損)十三日〇七三〇更ニ19ニ對シ同索敵ヲ命ジ
 タルモ〇九三〇基地航空部隊飛行機ヨリ敵機動部隊
 ヲ地點ケンヨ55ニ發見セルヲ以テ之ヲ中止ス

(ヲ) 十三日一一四五敵機動部隊ノ出現ニ應ジ191ヲ同發見
 地點附近ニ向ハシメタルモ更ニ一六三ニISSBニ對シ十四日〇二〇〇
 迄ニト散開線(地點コウニ〇〇一地點ケレル〇〇)ニ就ク如ク發

令ス

ハ散開線ニ於ケル配備東ヨリ19131124121126119115117133ノ順

(四)十五日〇九一〇基地航空部隊飛行機ハ地點ルヨ四夕ニ

於テ敵輸送船團(TX dx6)ヲ發見 EBハ極力之ガ觸接

攻撃ヲ命ゼラタルヲ以テISSBハ直ニ300°方向ニ進撃 3SSBハ概

ネ現配備附近ニ於テ邀撃スベク發令爾後更ニISSBノ一部

潜水艦(133117115)ヲインダスペンサブル水道南口ニ全力急

行 3SSB潜水艦ト共ニ極力敵ヲ邀撃セシム

(カ)十五日一一四五119ハ地點ケワラ 25ニ於テ敵空母(飛行甲板

長艦橋煙突低小)一隻撃沈ス(115一八〇〇地點ケワラ

28ニ於テ同空母ノ沈没ヲ確認)

(コ)十五日一五〇五「ガダルカナル」ノ總攻撃成功セズ 陸軍兵

力ノ増強ヲ俟テ之ガ再興ヲ企圖セラルルコトナリ SSB

ハ「ガダルカナル」附近ニ集中敵ノ増強遮断ヲ命ゼラレ
 タルヲ以テ 1SSB 2SSB 3SSB ヲ第一監視部隊 第二監視部隊ニ
 區分シ「インゲスペンサブル」水道及同南口附近更ニ其ノ南
 方ト三線ニ配備ス

(ウ) Y 日前後ヲ期シテ實施セラレタル航空撃滅戦ニ EB ハ
 支援部隊ノ作戰ニ策應「ソロモン」諸島南東方海面
 ヲ掃航索敵セシモ敵情ニ関シ得ル處ナシ

(リ) 十七日日没後 11sg ハ配備ヲ撤シ「トラツク」ニ歸投セシム
 (ニ) 十七日 1000 卒ニ監視部隊ノ一艦ヲシテ「エスプリサント」
 島泊地ニ進入飛行艇及飛行艇母艦ノ奇襲撃滅
 ヲ命ズ

131 八三十一日 2100 同島ヲ偵察セルモ飛行艇及同
 母艦ヲ認めズ歸途ニ就ク

(ツ) 二十日。九四〇「ガダルカナル」航空撃滅戦ヲ取止メラレタルヲ以テ舊配備ニ復歸ス

但シ(1) 2sg⁽⁻⁴²⁵⁾ 及 133「ハトトラック」ニ歸投ヲ命ズ(整備補給在泊

約七日)

(2) 「インダスペンサブル」礁ニ在リテ對水偵補給ニ任ジアリシ122ニ對シ「ラボール」ニ歸投ヲ命ズ

(ホ) 二十三日。〇〇〇。以後 3ss司令官ヲシテ第一監視部隊ノ指揮ヲ執ラシム

(ハ) 二十三日。二二五。ハヲ一時外南洋部隊ニ編入セラル

二十四日。三三七。更ニ124ヲ外南洋部隊ニ編入セラル

(ニ) 二十八日。八三〇。第一監視部隊指揮官ニ對シ十月五日頃迄ニ飛行機搭載潜水艦ヲシテ「エスピリッサント」島水陸

飛行基地ノ飛行偵察實施ヲ命ズ

(ウ) 敵艦船發見狀況(飛行機ヲ含マズ)左ノ通

月	日	時	刻	艦名	地	點	發	見	艦	飛	記	事
九	一	〇	四	三	〇	133	敵	B	ラ	シ	キ	檣
九	〇	五	〇	〇	〇	111	敵	AX1	(ミ	ソ	フ	ス
九	〇	五	〇	〇	〇	112	敵	TX3	dx1			
九	〇	五	〇	〇	〇	114	敵	dx1				
												被發
												攻見
												擊

本任務ノ爲ニハ同夜發動十月二日黎明偵察ヲ實施シ飛行場ヲ確認ス
 (山) 三十日一六二〇第二監視部隊ニ對シ十月一日日没後現
 配備ヲ撤シ193sg(122) 131ハ(121ハ「エスピリツサント」偵察後)
 「ドラック」ニ歸投整備補給ヲ命ジ(在泊約七日) 122 132ハ
 L、散開線(地點ケリメ〇〇)地點ケルム〇〇)ニ就キ哨戒セシム

戦果
 川 九月六日。九四九地點ケラル48ニ於テ敵空母(エンタープ

〃	二五	〃	二三	〃	〃	一五	〃	〃	一四	一三
一九三〇	一八五四	一一〇〇	〇五三〇	一五三五	一一一〇	一一一〇	二〇〇〇	一五五六	〇〇三〇	二〇二〇
15	112	126	19	15	126	119	115	126	115	114
ケモマ13	ケモメ45	ケメア15	ケリラ17	ケロラ28	ケヲヨ47	ケワヨ48	ケモマ44	ケヲラ15	ケモマ35	ケモメ35
敵 TX6	敵 dx1	敵 ラシキ 潜望鏡	敵 TX1 (メヲ伴フ)	敵 CX2 d 数隻 火災中ノA	敵 KB ラシキ 数隻ノ檣	敵 AX1 CX1 d 数隻	〃	敵 dx1	敵 TX1 dx2	敵 CX3 又ハ dx3
〃	〃	〃	發見	空母沈没確認	發見	A 襲撃	〃	〃	〃	發見

い) 被害並故障

ライズ型類似ニ魚雷ニ命中

(2) 11月十五日一二四五地點ケワラ25ニ於テ敵空母(ワスプ)一隻撃沈(15ハ沈没確認)

(1) 11月六日襲撃後敵警戒艦艇ノ爆雷攻撃ヲ受ケ主蓄電池兩群トモ大部破損潜望鏡損傷潜航不能ニ

陥リトラック經由内地ニ歸還修理ニ從事セシム

(2) 122「クラツチ」嵌脱不具合其ノ他数件ノ相當大ナル故障ヲ生起「ラボール」ニテ應急修理ノ上水偵基地任務

ニ従事ス

(3) 133「ハ」モレスビー及「ミルネ」湾方面作戰協力中九月三日

以降消息ヲ絶ツ

(4) 114九月十日ロ一五〇敵驅逐艦ノ爆雷攻撃ニ依リ近

二人
員

司令部職員

准士官以上

職	主務	官	氏名	記	事
司令長官		海軍中將	侯小松輝久		
參謀長		海軍大佐	三戸壽		
機関長		海軍機関大佐	西澤兄信	九一八補機附	
同		同	廣瀬藤藏	九一五補機附 九一六補機附 九一七補機附 九一八補機附	

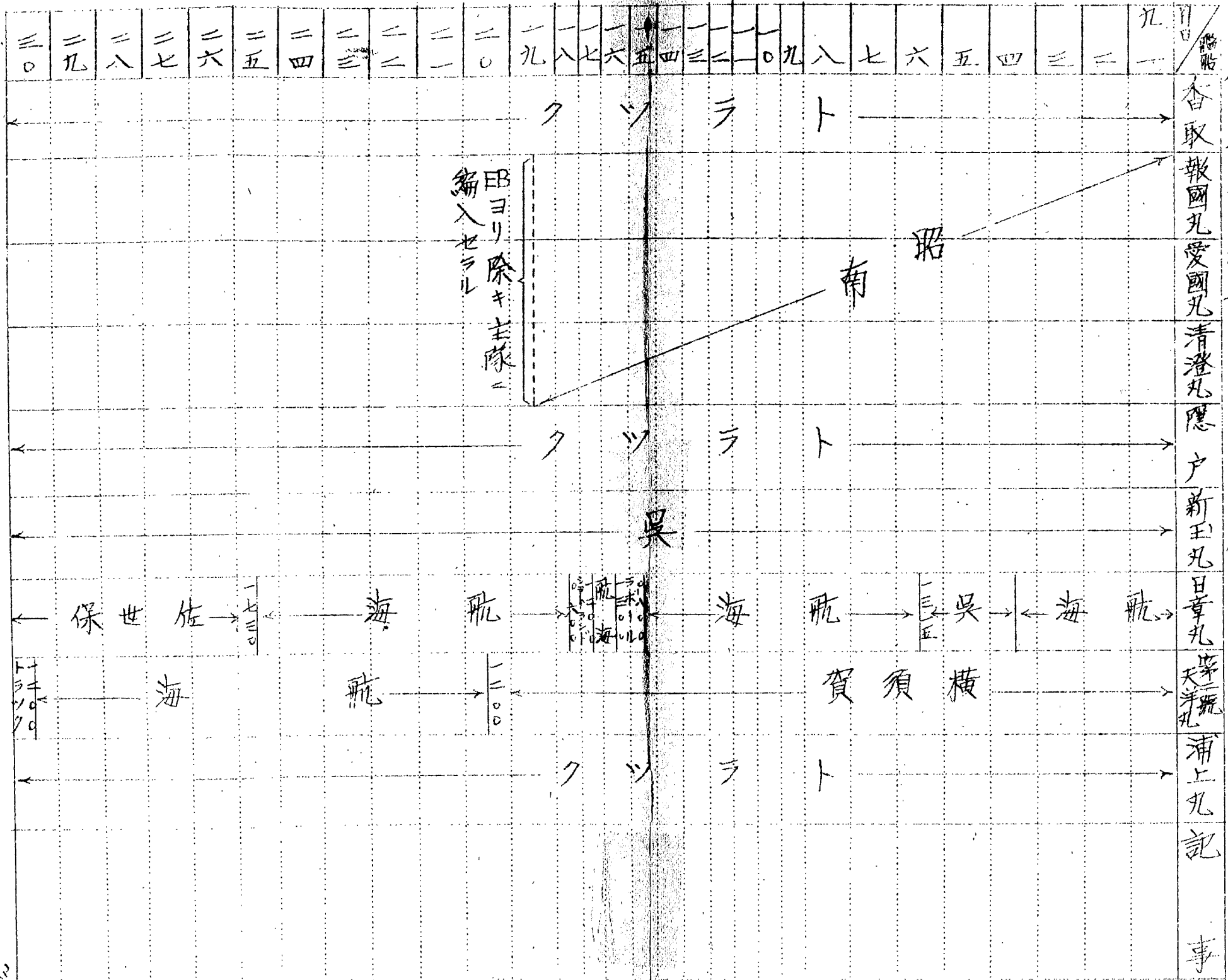
彈六發若干ノ被害アリ

(5) 15 九月二十五日一九三〇敵驅逐艦ノ攻撃ニ依リ近彈ニ發若干ノ被害アリ

(6) 133 九月二十六日〇九三三「トラック」泊地ニ於テ事故ノ爲沈没

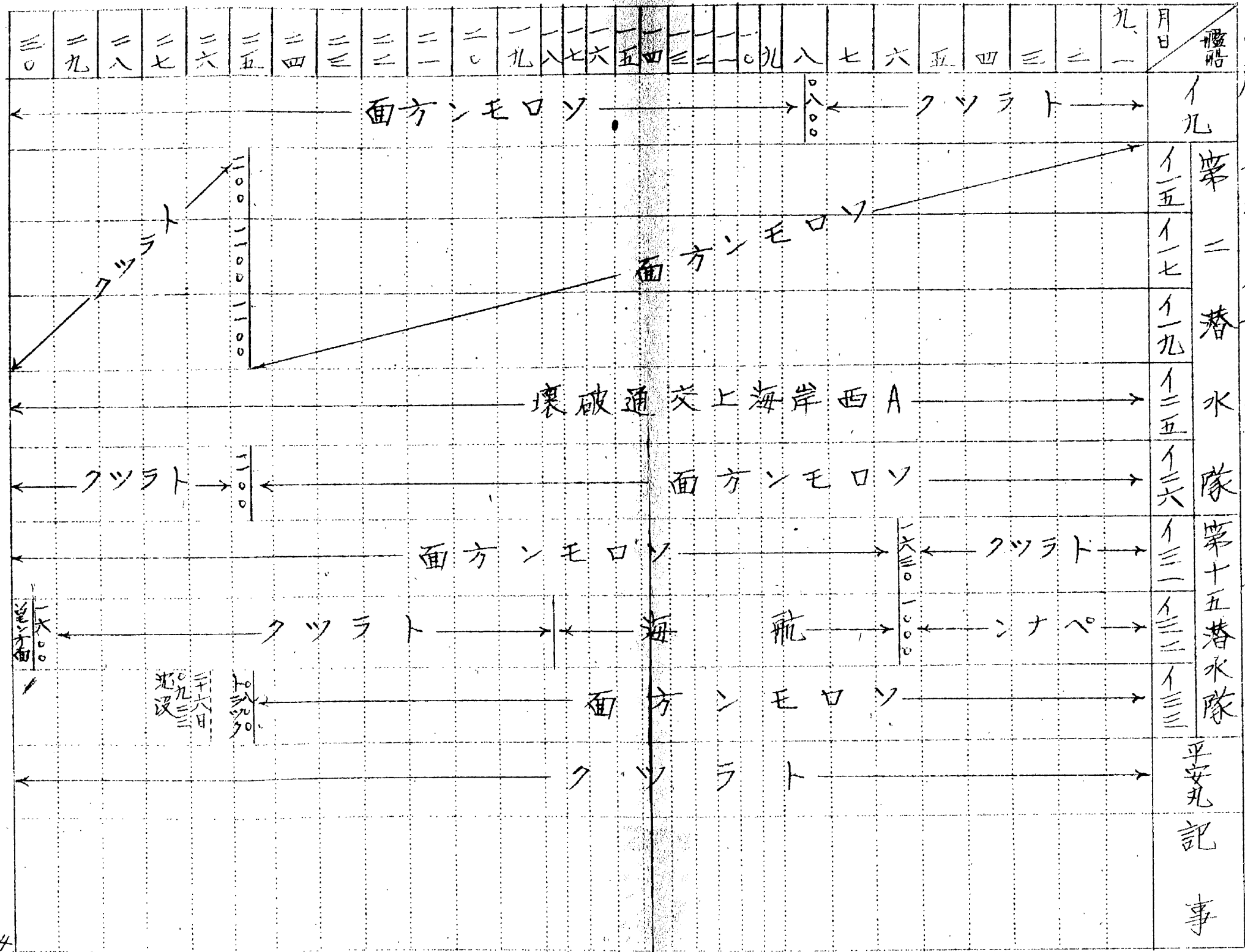
同	同	附	附(兼)	副官	同	同	同	同	同	參謀	主計長	軍醫長
同	軍醫長附	庶務		通信	水雷	機関	航海	同	同	首席		
同	海軍軍醫大尉	海軍主計特務大尉	海軍機関少佐	海軍大尉	海軍少佐	海軍機関少佐	海軍少佐	同	同	海軍中佐	海軍主計中佐	海軍軍醫大佐
猪	諸熊	岡村	黒田	野口	石橋	赤堀	今井	福村	高橋	松村	太田	板倉
初男	亨	薫	忠仁	新逸	政雄	次郎	知夫	利明	長十郎	翠	三男	駿
九一三補師司令部附 九一〇着任	九一三佐病部員 九一四退任		九一三海軍機関部部員 九一四退任ノ手續ヲ了ス					九一三補師司令部附 九一四補師司令部附 九一五補師司令部附 九一六補師司令部附		九一六補大學校教官		

8671
348



四. 参考
 (一) 麾下艦船ノ行動(香取其、他)

香取 報國丸 愛國丸 清澄丸 隱戸 新玉丸 日章丸 天海丸 浦上丸 記事



(一) 麾下艦船ノ行動 (第一潜水部隊)

三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	〇九	〇八	〇七	〇六	〇五	〇四	〇三	〇二	〇一	九	月日
ルーボラ																														イ	艦
																														イ	第
																														イ	七
																														イ	落
																														イ	水
																														イ	隊
																														イ	(第
																														イ	二
																														イ	落
																														イ	水
																														イ	部
																														イ	隊)
																														イ	大
																														イ	(23
																														イ	事
																														イ	事

(一) 麾下艦船ノ行動
 (第ニ潜水部隊)

昭和二十三年八月
 牛車山金付抱えバツグ

外南洋部隊ニ編入

面方ンモロソ

海航

須賀

横

面方ンモロソ

海航

海航

吳

面方ンモロソ

トコ
ツク

海航

海航

旗18
ニ355
揚司
官14

18
358
ニ編入

9881

三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	九	月日	船名
← 吳 →										← 海 航 →										イニ		第一潜水隊	第一潜水隊									
← クツラト →										← クツラト →										イ七四 イ七五												
← 面方ンモロソ →										← 吳 →										イ六六 イ六八		第二潜水隊	第二潜水隊									
(備整理修大) 保世佐										(備整理修大) 保世佐										イ六九 イ七一												
(備整理修大) 吳										← 面方ンモロソ →										イ七二 イ七三		第三潜水隊	第三潜水隊									
← クツラト →										← クツラト →										イ七四 イ七五												
事																																

一) 麾下艦船ノ行動 (第三潜水部隊)

1881

	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	九	月日	船名
																															一〇	第一潜水隊	
																															一六	第一潜水隊	
																															一八	第一潜水隊	
																															二〇	第一潜水隊	
																															二三	第三潜水隊	
																															二四	第三潜水隊	
																															二七	第十四潜水隊	
																															二九	第十四潜水隊	
																															三〇	第十四潜水隊	
																															三〇	海航	
																															三〇	海航	
																															三〇	海航	
																															三〇	海航	
																															三〇	海航	

(一) 麾下艦船ノ行動

(第二潜水隊)

(第八潜水隊)

(第十四潜水隊)

賀 須 横

面方シモロソ

面方シモロソ

面方シモロソ

南 昭

航 洋 度 印

面方洋度印

(入編=隊部カ主時一) 海 航

港 香

海

航

賀 須 横

日 枝 九 記 事

354

極秘

第六艦隊機密第二三號、七四

昭和十七年十月十日

第六艦隊戦闘詳報

第十號

ソロモン群島方面ニ於ケル
作戦其二

自昭和十七年九月八日
至昭和十七年十月五日

第六艦隊司令部

先遣部隊戦闘詳報第十號

一、形勢

(一) 敵軍一般情勢

敵ハ依然「ガ」島ニ對スル增強ヲ続行之ガ爲空母及戰艦ヲ主幹トスル部隊「サンクリストバル」島南東乃至南方海面ニ出現輸送ヲ行フ作戰ヲ続行シアリ

(二) 敵空軍情勢

最近南太平洋諸島ニ於ケル敵空軍基地整備並我ガ潜水艦ノ妨害ナキ等ノ爲米ノ對豪軍需資材輸送容易トナリ豪ノ戰備急速ニ整ヘルモノノ如ク九月初旬以來敵空軍ノ活動ハ漸次活氣ヲ帶ビ「ラバウル」「ソロトランド」其ノ他我ガ水陸基地攻撃ヲ殆ド連續的ニ實施又對潛警戒嚴トナレリ

が島敵空軍亦著シク増強セラレ今飛行場ヲ基地トスル敵機ハ其威カヲ發揮^カが島ニ對スル我が輸送補給ハ甚シク困難トナリ九月中旬以降ハ暗夜^ハ駆逐艦等ヲ以テ急襲的ニ之ヲ行フノ止ムナキニ到レルニ及シ敵ハ白晝堂々輸送船ヲルンガ泊地ニ進メ荷揚ヲ行ヒツツアリ

(三) 本作戦ニ關係アル内外諸情勢

が島ヲ速ニ奪回スルニアラザレハ今後ノ全作戦ニ至大ノ影響アルニ鑑ミ海陸軍ハ緊密ナル協同作戦ヲ行ヒ^カが島ヘノ増強ヲ行ヒ九月中旬^カ飛行場ニ對スル總攻撃ヲ實施之ヲ一舉ニ奪回スベク着々準備ヲ進メラレツツアリ

ニ計 畫

(一) 九月八日 〇〇〇〇 EB 編制及軍隊已分

EB				隊名
2SSB	7SSB	3SSB	1SSB	
18 789 (17B 11 12 13 14 15 16)	1389 迅P (112) 鯨 (122) (1) ホール在泊 2189 (033 034)	111P 1138 (1174 1175) 1289 (1172)	19P 289 (115 117 119 125 126) 1589 (131 132 133)	香取(旗艦)
				EB指揮官
789 司令	788 司令官	388 司令官	188 司令官	指揮官
122 1539) 九月五日ES發PT二回航中 122 389) 九月十日横須賀発撃 1176 (1189) 九月十日呉発撃 168 169 171 何レ 毛1289) 八佐世保及横須賀ニ修理中 1123 八月二十九日以後033 八月九日以後 右消息ナシ 034自九一入ヨホール在泊爾後 034至九一モ 789(欠16) 九月八日横須賀伊全 十五日呉發PTヲ經テソロモン 作戦ニ参加 モレスビー方面ニ行動				記 事

記事	部隊	補給	附屬	888 388 110B 189 (116 118 120) 1489 (127 129 130)
	日章丸(九月十日吳松PT高) 三笠丸(橫須賀軍需部三協力行動中)	浦丸(PT在泊)	隱戸(PT在泊)新玉丸(吳在泊)	愛國丸 報國丸 清澄丸
旗艦	司令官			
香取 PT在泊	100 特別任務行動中 1489 (又130) 印度洋ニテ作戰中 110 189 橫須賀ニテ修理中			
平安丸 PT在泊				
靖國丸 PT在泊	自九一ニ。陸軍輸送ニ協力爾後PT在泊			
日枝丸 橫須賀在泊				

(一) 所電令作第ニ七五號(EB指揮官ハ¹⁴⁸⁹ヲ除ク^{38B}ノ全力(整備中モ
ハ整備完了次第)ヲカ「號」レ「號」作戰海面ニ集中スベシ¹¹日
一八三三發令)ニ基キ可及的速ニ全潜水艦ヲ「ソロモン」群島方
面ニ集中概ネ左記方針ニヨリ作戰ス

(二) 潜水艦ノ大部ヲ「サンタリストバル」島南東海面ニ散開待敵
敵支援部隊(特ニ空母)ノ捕捉攻撃

(三) 一部潜水艦ニテ「インデスペンサブル」海峡東口ヲ扼シ敵輸送船
ノ捕捉攻撃

(四) 時々潜水艦ヲ「ルンガ」泊地ニ侵入セシメ敵輸送船ノ攻撃

ニ經 過

(一) 旗艦香取ハPTニ在泊聯合艦隊司令部ト緊密ナル連絡ヲ
保チ前記方針ニ則リ作戰ヲ指導セリ

(二) 麾下及友軍ノ實況

(夏)

(三) 敵軍ノ實況

(イ) 我が「カ」島増援強化ニ伴ヒ敵亦其ノ有利ナル態勢ヲ利用對潜水艦散開線ヲ強行突破(時々我カ飛行機又我カ潜水艦ニヨリ損害ヲ蒙リツツモ)「カ」島ノ増強ヲ行フ敵ハ右輸送ヲ容易ナラシメ且ツ「カ」島支援第一線基地トシテ九月中旬頃「エスピリサント」島ニ有力ナル水陸航空基地ヲ新設活用始メタルモノノ如シ

(ロ) 「ソロモン」群島方面ニ於ケル敵ノ抗戰狀況ヲ見ルニ作戰極メテ積極的將士亦勇敢米本土ニ於テ「ソロモン」方面ニ於テ先戰鬪ガ日米戦争ノ勝負ヲ決スト屢々發表セル事實ヲ併セ考フル時敵ハ如何ナル損害ヲモ顧慮セズ「カ」島ヲ確保セントノ企圖ナリト判断セラル

潜水艦ニ依ル敵艦發見狀況

月	日	時	刻	艦名	地	點	發見艦	船	記	事
九月	九日	〇	五〇〇	1172	ケモミ	36	敵 TX3 dx1		襲撃シ得ズ	
	十日	二〇	三〇	1174	ケユミ	00	敵 dx1			
	十一日	二〇	二〇	1174	ケモメ	35	敵 CX3 又ハ dx3			
	十二日	〇〇	三〇	1175	ケモマ	35	敵 TX1 dx2			
	十三日	一五	五六	126	ケヲラ	15	敵 dx1			
	十四日	二二	〇〇	1175	ケモマ	44	敵 dx1			
	十五日	一一	一〇	119	ケワヨ	48	敵 AX1 CX1 敵隻	✓	A 襲撃	
	十五日	一一	一〇	126	ケヲヨ	47	敵 KdB ランキ 敵隻ノ櫓		襲撃シ得ズ	
	十五日	一五	三五	115	ケロラ	28	敵 CX2 敵隻火災中 空母		空母沈没確認	
	十五日	〇五	三〇	19	ケリラ	17	敵 TX1 (dx1 伴フ)		襲撃シ得ズ	
	二十三日	一一	〇〇	126	ケメア	15	敵 ランキ 潜望鏡			

(四) 作戰ニ影郷音セル天候

の作戰海面ニ於ケル天候一般ニ不良ニシテ我が潜水艦ノ行動ヲ

著シク妨害セリ

(ロ)「インデスベンサブル」海峡東口「カ」島「サンタリストバル」島「マライタ」島ニ

テ圍ム海面ノ天候極メテ不良夜間ハ屢「スコール」未襲視界

甚ダ狭小之ガ爲全海面ニ配備セラレシ潜水艦ハ夜間敵ヲ近

距離發見避退潜航ヲ行フノ止ムナキニ到リ襲撃手ノ機ヲ得

ズ

(五) 經過概要

(イ) 配備概況(九月八日。。。。。發令迄ニ同現在)

十月一日 〇七二〇	二十五日	
	一九三〇	一八五四
122	15	172
ケヨラ 19	ケモマ 13	ケモメ 45
敵 TX1 αx3	敵 TX6	敵 αx1
“	“	襲撃シ得ズ

138B I 散開線(地點ケワモズ) 地點ケリヨ00) 東ヨリ 124 121 126 119 115 117

順

丁散開線(地點ケヨリ00) 地點ケラリ31) 東ヨリ 133 131 順

19 八十二日夜明以後 I 散開線ノ東方ヲ行動ス

138B (-111) ガダルカナル島附近

111 ハコトラックニ向ケ回航中

138B ラバウル方面及一部内地方面

138B (現地) 作戰部隊ハ88司令官ノ指揮下ニアリ

(四) 九日一三。敵輸送船ノガダルカナル方面突入ニ鑑ミ 138B (1172 1174 1175)

ヲシテ「インデスペンサブル」水道南口ヲ更ニ緊密ニ扼サシメ機宜

一部ヲ泊地ニ進入敵艦船輸送船ノ攻撃等ニ任ゼシム

(ハ) 十二日0000 131ハ既令ノ通「ヌデ」島「ガラシオサ」湾ニ進入敵飛

行基地ニ對シ砲撃(一〇發)距離約五〇〇〇米効果不明

(三) 十二日一八〇。三ノ對シ敵大部隊存在ノ疑アルコト島及附近ノ飛行索敵ヲ命ジ同艦ハ十三日早朝之ヲ實施シタルモ附近豪雨ノ爲敵情ヲ得ズ(着水時飛行機破損)

十三日。七三〇。更ニ一九ニ對シ同索敵ヲ命ジタルモ。九三〇。基地航空部隊飛行機ニヨリ敵機動部隊ヲ地點ケンヨクニ發見セルヲ以テ之ヲ中止ス

(四) 十三日二四五敵機動部隊ノ出現ニ應ジ一九三ノ同發見地點附近ニ向ハシメタルモ更ニ一六三ニ對シ十四日。二〇〇。迄ニ散開線(地點コウユ〇〇)地點ケレルニ就ク如ク發令ス

K散開線ニ於ケル配備東ヨリ一九三、一九四、一九五、一九六、一九七、一九八、一九九ノ順

(五) 十五日。九一〇。基地航空部隊飛行機ハ地點ルヨ四夕ニ於テ敵輸送船團(Tx9 dx6)ヲ發見EBハ極力之ガ觸接攻撃ヲ命ゼラレタルヲ以テSsbハ直ニ三〇〇度方向ニ進撃スハ概ネ現配備

附近ニ於テ邀撃スベク發令爾後更ニ^{SsB}一部潜水艦(伊^伊伊^伊)
ヲ「インデスペンサブル」水道南口ニ全力急行^{SsB}潜水艦ト共ニ極
力敵ヲ邀撃セシム

(ト)十五日一一四五¹⁹ハ地點ケワラ²⁵ニ於テ敵空母(飛行甲板長ク
艦橋煙突低小)一隻ヲ撃沈ス(伊^伊ハ)。地點ケワラニ於テ
同空母ノ沈没ヲ確認)

(チ)十五日一五。五¹⁹ガタルカナルノ總攻撃成攻セズ陸軍兵力増
強ヲ俟テ之ガ再興ヲ企圖セラルルコトナリ^{SsB}ハ¹⁹ガタルカナル附
近ニ集中敵ノ増強遮断ヲ命ゼラレタルヲ以テ^{SsB}²⁵^{SsB}ヲ等一
監視部隊第二監視部隊ニ区介シインデスペンサブル水道及
同南口附近更ニ其ノ南方ト三線ニ配備ス

(ウ)Y日前後ヲ期シテ實施セラレタル航空撃滅戦ニEBハ支援
部隊ノ作戰ニ策應ソロモン諸島南東方海面ヲ掃航索

敵セルモ得ル處ナシ

(又)十七日 日没後 189 八配備ヲ撤シ「トラック」ニ歸投セシム

(四)十七日 一〇〇〇 第二監視部隊ノ一艦ヲシテ「エスベリッサン」ト島

泊地ニ進入 飛行艇及飛行艇母艦ノ奇襲ヲ命ズ

八二十一日 二一〇〇 同島ヲ偵察セルモ飛行艇及同母艦ヲ認

メズ 歸途ニ就ク

(五)二十日 九四〇「ガダルカナル」航空撃滅戦ヲ取止メラレタルヲ以テ

舊配備ニ復歸ス

但シ「(一) 239 (二) 125」ニ歸投ヲ命ズ(整備補給在泊約七

日)

(三)「インデスペンサブル」礁ニ在リテ對木偵補給ニ任ジアリシ

似ニ對シ「ラバウル」ニ歸投ヲ命ズ

(六)二二日「ラ外南洋部隊」ニ編入「グッドイナツ」島ニタル我カ特陸

放出ニ當ル(十月十九日原隊復歸)

(カ)二十三日。〇。〇。〇。以後、司令官ヲシテ第一監視部隊ノ指揮ヲ執ラシム

(ク)二十四日。三三七更ニ、外南洋部隊ニ歸入セララル

(ケ)二十八日。八三〇。第二監視部隊指揮官ニ對シ、十月五日頃迄ニ飛行機搭載潜水艦ヲシテ「エスピリツサント」島水陸兩用基地ノ飛行偵察實施ヲ命ズ

本任務ノ急、八同夜發動、十月二日黎明偵察ヲ實施シ、飛行場ヲ確認ス

(コ)三十日。一六二〇。第二監視部隊ニ對シ、十月一日日没後現、配備ヲ撤シ、伊三三九(佐八)ハ「エスピリツサント」偵察後、「トラック」ニ歸投、整備補給ヲ命ジ、(在泊約七日ノ豫定)「佐八」ヲ散開線(地點ケリメ〇〇)地點ケルム)ニ就キ哨戒セシム

艦名		攻		撃	効
日	時	地	點		
				目	標
					果

五戦果 (別紙)

四令達報告等

(一) 仍仍仍ハ「ショートランド」ニ於テ「1134」ト對飛行機補給打合セノ上仍
 ハ「インデスベンサアル」礁仍仍ハ「モホーク」仍仍ハ「カミンボ」ニ向フ

續キ「スバ」監視

(二) 仍仍仍ハ十月十五日迄ニ「ヌメ」ト十月二十日迄ニ「スバ」飛行偵察引

定。

(三) 十月五日一六〇。前後 259 (仍仍) 「トラック」發概ネ在ノ如ク行動ノ豫

被害竝故障

14	119
九一三〇 二一五〇	九一五〇 一一一〇
ケモム 00	ケワヨ 48
艦級輸送船 dxh ² ノ護衛下南中七	dxh ¹ ノ護衛下 C型類似ノ空母
雷撃等々沈	雷撃等々沈 今日一五三五地 點ケワヨ本空母沈没確認

(一) 九月二十六日。九三「トラック」泊地ニ於テ事故ノ為沈没

(二) 爆雷被害

(イ) 九月十日。一五〇敵駆逐艦ノ攻撃ヨリ近 弾六發若干ノ被害アリ

害アリ

(ロ) 九月二十五日。一九三〇敵駆逐艦ノ攻撃ヨリ近 弾二發若干ノ被害アリ

ノ被害アリ

(ハ) 約三ヶ月前ノ爆雷被害ニ依ル「メインタンク」漏油個所修理不能十月四日作戦地ニ向フ途中ヨリ反轉「トラック」經由内

地ニ回航修理セシム

六功績

(一) 119九月十五日一一〇地點ケワヨカニ於テ警戒最重ナルコエント
プライズ型空母ヲ攻撃ク沈セル爾后全作戰三貢獻スル所大
ニシテ其ノ功績特ニ顯著ナリ

(二) 119九月三十日二一五〇地點ケモム〇〇ニテセ〇〇〇船級輸送船ヲ攻撃
撃沈セルハ其ノ功績大ナリ

七戦訓所見

別途提出

(終)